

機船労働組合を造つて革新同盟にかけり大阪合同労働組合中のゴム工業之を脱して新に大阪ゴム労働組合を組織して亦刷新派に加盟した。
 六、日本労働組合評議會成立
 かくして革新同盟に属する組合は全部総同盟と絶縁した。而して等は思想上は左傾派であり、組合組織の原則としては産業別主義を奉ずる点に於て軌を一にするから、茲に別段の障礙なく一大聯合を組織するに至つた。即ち五月二十三日神戸に於て創立大会を行つた日本労働組合評議會是れである。加盟組合三十一人負約一万人。その組織に於ては、主義綱領に於ては頗る異彩に富むるものがある。(詳しくは後輯「日本労働組合評議會」成立と其内容」参照のこと。)
 七、総同盟の新幹部
 之に對する総同盟の陣容を見るに、加盟組合四十八人負約一万八千、五月三十一日の新選出中央委員の

第一回會議に於て、幹部は尤記の通り全部旧幹部派を以て之れを占むる事に確定し、其結束頗る堅きを思はしめる。

新幹部

會長 鈴木文治
 主事 藤岡文六

旧幹部

鈴木文治
 西尾未廣

中央委員

關東 小泉七藏、望月源治
(松岡の吉は五月三日中央委員會(常任)に辭職を申出、承認せらる)

大阪 大矢省三、中川重吉

灘 笠島末吉

京都 ナシ

神戸 ナシ

九州 浅原健三

鑛文、高橋 高梨二男

組織部長 西尾未廣

小泉 望月

加藤 藤

藤岡文六、塚本重藏

笠島

谷口善太郎

野倉萬治

浅原

加藤勘十、高橋長太郎

ナシ